



て・く・む (神はいつも私のそばに)

†聖書の言葉†

彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

ルカによる福音書 2章8～10節

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年末のクリスマス会、多くの参加者に囲まれて、大盛況に開催することが出来ました。誠にありがとうございました。

子どもたちは、クリスマスやお正月の楽しかった土産話を持って、元気に登園してきました。いよいよ3学期が始まりました。3学期は子どもたちにとって、進学、進級の準備を行う、重要な学期です。子どもたちがたくさんの思い出を胸に、進学進級できるよう、教職員一同、精進して参ります。本年も、宜しくお願いいたします。

カトリックで、1月4日は主の公現の祭日でした。「主の公現」とは、神の栄光がキリストをとおして、世界の全人類に現されたことを祝う日です。これは、子どもたちの聖劇にも3人の博士が出てきますが、3人の博士が馬小屋で生まれたばかりのキリストに会い、その事実を世間に知らしめた日とされています。その日にクリスマスツリーや馬小屋を片付けて、クリスマスの終わりとします。

園長